

よき社会—
社会民主主義
#2017 plus

フリードリヒ・エーベルト財団プロジェクト

「よき社会」とは何でしょう？私どもフリードリヒ・エーベルト財団にとって、それは社会正義、生態学的な持続可能性、革新的かつ順調な経済、そして市民が積極的に参加できるような民主主義を意味します。こうした社会は、自由、正義、連帯という基本的価値観に支えられて初めて成り立つものです。

よき社会を実現するためには、新しい発想や概念が必要です。そこでフリードリヒ・エーベルト財団では、今後数年にわたって行われる政治について、具体的な提言を行うことに致しました。特に次のようなことは、重点的に取り組んでまいります。

- 基本的価値観「自由、正義、連帯」に関する討論
- 民主主義と民主主義的な政治参加
- 「新しい成長（ニューグロース）」と積極的な財政および経済政策
- ディーセントワークと社会的進歩

よき社会とは、ひとりで生まれるものではありません。市民全員で、絶えず協力しながら作っていかねばなりません。このプロジェクトのために、フリードリヒ・エーベルト財団では世界中に広がるネットワークを駆使し、ドイツの、ヨーロッパの、そして世界の視点を1つにつないでまいります。そして2015年から2017年にかけて、数多くの出版物やイベントを通じて、よき社会の実現に向けて努力していく所存です。

プロジェクトに関して詳しくは：

www.fes-2017plus.de